気候変動とカネ

LifeStyle

2019.03.09

気候変動の時代、「水に浮かぶ暮らし」は現実の選択肢だ

Digitaal Factureren
Efficiënt en overzichtelijk online factureren. Probeer 30 dagen gratis.
Exact
Meer informatie
Al 30 jaar dé keuze voor het MKB

広告

SPONSORED CONTENT

温暖化で海水面が上昇しても安全な、アムステルダム郊外に浮かぶ水上住宅。マルクス・シュミット（52）とイヴォンヌ・ファン・サルク（49）、２人の子どもが３月から暮らし始める＝川上真氏撮影

「低地の国」オランダでは、以前から運河に浮かべた舟を住居として暮らす人々がいたが、気候変動を契機に「水上に暮らす」という選択肢が改めてクローズアップされている。市民が自発的に水上に新たな共同体をつくる試みや、水上構築物を世界中に売り込もうとする動きに加え、近く水上農園も開業する。これまでほとんど活用されてこなかった

復興はゆっくりだけど進んでいることを歌を通して伝えたい。「復興支援音楽祭 歌の絆プロジェクト」で、被災地の中学生が秦基博さんと共演

三菱商事

SPONSORED CONTENT

「有能なアーティストにもっと頑張って欲しい」という落札者の思いとともに、若手アーティストの支援を行う「三菱商事アート・ゲート・プログラム」

三菱商事

注目コンテンツ[PR]

未来へ、希望の花を咲かせよう。

「水の上」「海の上」は、気候変動時代の新たなフロンティアになりうるのか。（太田啓之）

「二酸化炭素の排出を極限まで抑えた新しい共同体を、水の上に作ろう」。そんな試みが今、アムステルダム市郊外の運河で、市民たちの手によって自発的に進められている。

プロジェクトの名称は「スクーンシップ(クリーンな船)」。

水上に浮かぶ住宅30棟を同じ場所に設置して、46世帯105人の住民が、「水の上でのご近所づきあい」を目指すという斬新な試み。すでに現場には住宅5棟が設置されており、3月からは一部の人々が実際に暮らし始める。2020年に完成の予定だ。

三菱商事

未来の巨匠を探せ　オークションで若手アーティストを支援

三菱商事

パラスポーツの未来のために

三菱商事

「反日」に対する日本の新たな視線

こんなにごみを出しながら生きている　写真で廃棄物問題を可視化する

Canada begint met hier

Air Transat

Recommended by

Most Popular

読まれている記事

アリアナ・グランデ「

動に見る異文化理解の

中国はラオスでいった

アムステルダムで建設が進む「スクーンシップ」。「ヨーロッパで最も持続性の高い浮かぶ街」という触れ込みだ
=川上真氏撮影

ているんですか?　中[
鉄道とは

非核化が達成されても
の対日軍事的脅威は変

似て非なる日韓の食文
の箸を使う秘密は？

CO_2を吸い取れ　世界
トアップが続々参戦、
策の「フェーズ2」

VIEW ALL

関連サイト

朝日新聞社のニュースサイト

朝日新聞デジタル

アムステルダムで建設が進む「スクーンシップ」。「ヨーロッパで最も持続性の高い浮かぶ街」という触れ込みだ
=川上真氏撮影

「この計画を思いついた時には、他の人たちが本気で取り合ってくれるかとても不安だった。だけど、実際には。話を持ちかけると誰もが『私もやりたい』と、目を輝かせて聞いてくれた。みんな自分の生活を変えたがっていたのね」。

計画の発起人となった映像監督マリアン・デ・ブロックはそう話す。10年前、オランダで水上にボートを浮かべて暮らす人々のテレビ番組を製作したことがきっかけとなり、仲間を募り、話し合いを重ね、自治体を説得するという粘り強い取り組みを続けてきた。

「スクーンシップ」のテーマは「隣人と共に築く持続可能性のある生活」だ。

エネルギー源として、運河の水と大気との温度差を利用してエネルギーを得る「ヒートポンプ」や太陽光発電を最大限活用し、二酸化炭素の排出につながる都市ガス(天然ガス)は一切使用しない。ITによって電力供給を制御する「スマートグリッド」で各住宅を結びつけ、電力を融通し合うことによって、自然エネルギーの弱点である供給の不安定さの克服を目指す。何よりも水上に浮かぶ生活であるため、地球温暖化で海水面が上昇しても影響を受けない。

復興はゆっくりだけど進んでいることを歌を通して伝えたい。「復興支援音楽祭 歌の絆プロジェクト」で、被災地の中学生が秦基博さんと共演

SPONSORED CONTENT 三菱商事

水上住宅の建設や太陽電池などの設置にかかる費用は、一戸あたり30万～80万ユーロに達する上に、参加を希望する人々は、計画の詳細を話し合うために多くの時間を割くことを求められる。入居希望者は引きも切らず、キャンセル待ちの人も多い。

ブロックと共に計画に携わってきた建築家のマヨラン・スメイラ(38)はこう話す。「息子たちの未来のためにも、環境に負荷をかけない生活をしたいのだけど、現代文明の快適さも手放したくない。ここならそれが可能になるし、水上バスを使えばアムステルダムの中心までわずか10分。水の上なら、過密な都市の中でも『新しい村作り』ができる」。

すでに現場に浮かべられた住宅の一つでは、団体職員のイヴォンヌ・ファン・サルク(49)と環境NGOに勤めるマルクス・シュミット(52)のカップル、そして十代の2人の息子たちが壁塗りの作業を進めていた。

専門の職人たちの助けを借りつつも、可能な限り自分たちの手でマイホームを仕上げたいのだという。サルクは「考え方が同じ人々と隣人同士になり、共に新しい生活を築き上げていくのはとても野心的。

そこに心を動かされた」と話す。息子たちは夏になって、住居の屋上からそのまま運河に飛び込むことを何よりも楽しみにしているという。

アムステルダムで建設が進む「スクーンシップ」。マルクス・シュミット(左から2人目)、イヴォンヌ・ファン・サルク(左から3人目)と2人の息子たちは、後方に写る自らの家の壁塗り作業をしていた。「ヨーロッパで最も持続性の高い浮かぶ街」という触れ込みだ=川上真氏撮影

■都市の行き詰まりを打開する

「水上生活」のより積極的なビジネス化を目指すのが、オランダのハーグ近郊で設計事務所「ウォータースタジオ」を主宰するコーエン・オルトゥイス(47)だ。

同社はこれまでに、スクーンシップの住居を含め約250の水上住宅をデザインしてきたが、オルトゥスの野心は壮大だ。「大都市の大半は沿岸部のデルタ地帯にあり、海水面上昇の危機にさらされている上に、過密化が進んでいる。その行き詰まりを打開するのが、都市の沿岸部にまるごと新しい区画を浮かべることであり、それは既存の技術で十分可能だ」と主張する。

水上構築物の大規模ビジネス展開を狙う建築家のコーエン・オルトゥイス

オルトウィスは、自らが創立・出資するディベロッパー「ダッチドックランズ」と共に、モルディブや米国・マイアミで人工島などの水上構築物をつくろうとしてきた。政府や自治体の規制の壁に阻まれることも多かったが、風向きが変わってきたという。「海水面の上昇が続けば、行政も海上構築物のルール作りに、重い腰を上げざるを得なくなる」とみる。

現在、ウォータースタジオ社は、欧州の16の企業と共に欧州共同体(EU)の資金援助を受けて、大規模な人工島を海上につくるために必要なノウハウの蓄積を目指す「space@sea(海の空間)」というプロジェクトに参加している。計画は、北海の海上に浮かぶ都市をつくることを想定しているという。

■「地産地消」の新たな形

水の上で生産する動きも始まっている。ロッテルダム港の水上では近く、世界初の「水上農園」が開業する。40頭の牛を飼って1日800リットルの牛乳を作り、ミルクやヨーグルトとして販売する。

ロッテルダムの港に浮かぶ水上農園

開発・運営にあたる企業「ベラドン」の社長、ペーター・フォン・ヴィンガーデン(58)が目指すのは、新たな形の「都会での地産地消」。海水面の上昇で農地の確保が難しくなることを見越し「水上なら過密な都市の中でも農業ができる」と考えた。

「生産する過程を直接見ることができて消費者は安心できるし、遠くから食べ物を運ぶことで空気を汚染することもない」。ニワトリや野菜を育てる第二弾、第三弾もオープンさせる予定だ。

ロッテルダムの水上農園を企画・運営するベラドン社・社長のペーター・ファン・ヴィンガーデン

太田啓之

朝日新聞GLOBE編集部員

1964年生まれ。高畑勲監督の卓越した人間観察力と緻密な論理。そして宮崎駿監督の奔放なイマジネーションと情熱。両方を兼ね備えた

記者になりたい、と妄想しつつ、きょうもソファで昼寝をしています。高畑監督も寝そべるのが大好きだったから、これでいいのだ。

太田啓之の記事一覧へ

Other Stories

この特集を読む

気候変動の時代、「水に浮かぶ暮らし」は現実の選択肢だ

炭素税に国民は怒った　「黄色いベスト」デモ、反発ぶりに他国も震撼

CO_2を吸い取れ　世界のスタートアップが続々参戦、温暖化対策の「フェーズ2」

気候変動とカネ

豪雨や異常な暑さで実感させられる気候変動の進行。それは、世界中のカネの流れも変えている。気候変動で儲ける人、儲けよう

とする人、カネの流れからとり残されつつある人々を追った。(3月2日から毎日新しい記事を配信します)

VIEW ALL

Related Tags
関連タグ

#地球温暖化　#住む

気候変動の時代、「水に浮かぶ暮らし」は現実の選択肢だ

Share

「GLOBE+」メルマガ登録

おすすめのニュース、取材余話、イベントの優先案内など
「GLOBE+」を一層お楽しみいただけるサービスをご提供します。

メルマガ登録

Related Issues

関連するテーマ

私たちの社会

VIEW ALL

国境の住民が頭を痛める、「トランプ氏の壁」より深刻な問題

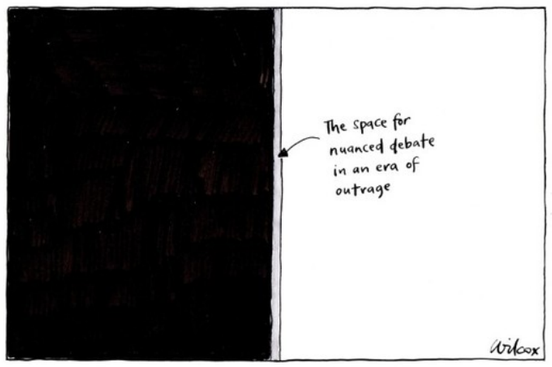
国際女性デーにぜひ読みたい、この８本

炭素税に国民は怒った　「黄色いベスト」デモ、反発ぶりに他国も震撼

日本で流行しそうなシリコンバレーのトレンド【2019年度版】（後編）

Editors'Picks

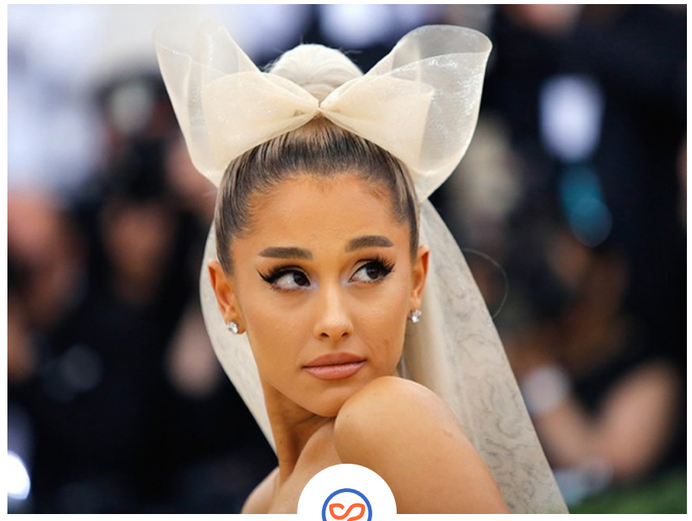
編集部おすすめ



World Now

とかく白黒つけたがる世の中へ　グレーゾーンの価値を伝える風刺画

#民主主義　#アーティスト



SPONSORED CONTENT

東日本大震災から8年。復興とともに育つ子どもたちの夢と目標

三菱商事

LifeStyle

アリアナ・グランデ「七輪」騒動に見る異文化理解の難しさ

#アーティスト　#音楽　#共生

SPONSORED CONTENT

学校では学べない社会勉強の場となる、オークションの新しい形

World Now

新大久保駅事故から18年　寒風が吹く日韓、それでも架け橋は育っていく

World Now

中国が抱え込んだ「人口減」というアキレス腱

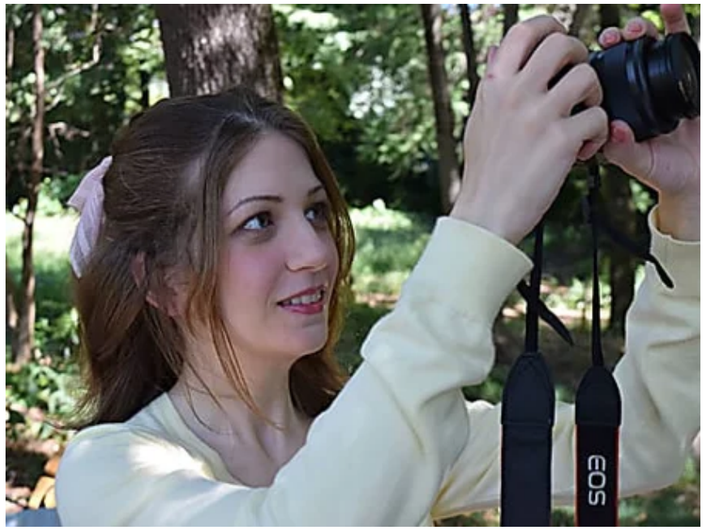
三菱商事

#韓国　#共生　#留学

#中国　#人口

Recommended

あなたへのおすすめ



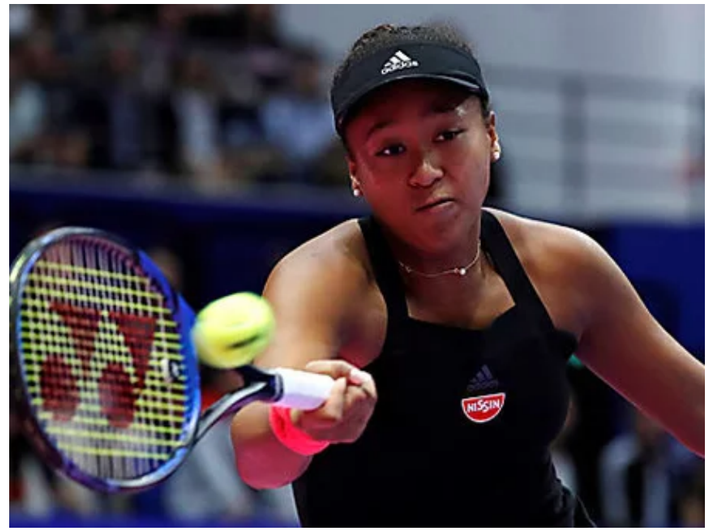
「義母から届いた食品」がアラブで大受け　人気のエジプト人ユーチューバーが…

「韓国のタブー」を映画化　カン・ドンウォンは自ら「出たい」～「1987、ある…

プラスチックゴミ問題を解決する技術とアイデア　アジアから続々発信中

「アメリカの仕組みを教えて」と聞いてきた北朝鮮の学生

日本の若者、世界に触れて@バンコク（タイ）



大坂なおみの報道であなたが感じたモヤモヤ、それは「ハーフあるある」です

Recommended by

GLOBE＋のメルマガを購読しませんか？

マイケル・ブースの世界を食べる

似て非なる日韓の食文化　金属の箸を使う秘密は？

World Now

AIが社会の主役に、人間の歴史は終わる　ドワンゴ川上量生氏が描く未来図

World Now

死んだペットが10万ドルでよみがえる（文字どおり）　クローン犬誕生の現場に立ち会った【動画あり】

世界の今日は私の明日につながっている

Follow GLOBE+

海外在住だからできること
ヨーロッパ在住の経験を活かして活動できます。現地案内、通訳、予約代行など
トラベロコ 登録

Copyright(c) The Asahi Shimbun Company. All Rights Reserved.